

(3) 人名瓦

知識への参加者を示す。

山崎院（天平3年建立『行基年譜』）出土文字瓦と同様。

土塔出土瓦の製作技法

創建期における主流の技法（他の技法は補完的）

丸瓦：模骨巻き作り

平瓦：桶巻き作り 凸面タタキ痕は回転ナデ消し。文字記入を前提。

須恵器工人の技法…土塔に特徴的。

凸面平行タタキ痕・凹面同心円当て具痕…平瓦の6%

愛知県陶磁資料館所蔵 伝陶邑窯跡群周辺採集文字瓦（以下、「愛知県資料」）

桶巻き作り・格子タタキ共通。…窯跡出土の可能性高い。

土塔出土資料に少数存在。周辺で他に文字瓦供給先なし。

…土塔供給予定の可能性高い。

焼成窯：多くは至近の大野寺窯跡1・2号窯。

他の瓦窯…陶邑光明池地区瓦陶兼業 KM38 - II号窯

（堺市美木多：大鳥郡和田郷比定地。大鳥郡と和泉郡の境界近く）

人名文字瓦の概要

文字記入 平瓦：凸面・凹面両方。丸瓦：凸面

凸面：分割後記入／分割前記入（文字半裁の例あり）・凹面：分割後記入

人名：基本（97%）は瓦一枚に一名、一名は瓦一枚（原則異筆…各自で記入）

残り3% 瓦一枚に複数名（別筆のケース／同筆のケース）

複数の瓦に同名同筆（「蓮光」15点「泰順」3点ほか）指導者か。

複数の瓦に同名別筆（「連善」「賢実」各2点）一部の僧侶名。

複数の瓦に別名同筆（「矢田部連龍麻呂」8点+「矢田部連田々你古」4点）

近い関係の者が代筆か。

人名文字瓦にみえる氏族の分布（岩宮 2004）

和泉国・河内国・摂津国に及ぶ。和泉国大鳥郡・河内国丹比郡が特に多い。

…氏族本拠地の所在の議論としては成立。記名者の実際の居住地・本貫とは別。

愛知県資料：岩宮が河内国とする「忍海部」が和泉国和泉郡池田里

3-3-2 知識の参加者

人数の推定

出土人名瓦／出土文字瓦 = 1069点／1171点 = 91%

文字記銘率 = 4.1%

推定総瓦数 = 52000枚～61000枚 + 瓦積基壇分

推定総文字瓦数 = 2132枚～2501枚 + 瓦積基壇分

うち総人名文字瓦数 = 1940枚～2276枚 + 瓦積基壇分

うち1名のもの（97%） = 1882枚～2208枚 + 瓦積基壇分

2000人前後が記名。50戸 = 1郷（里）の範囲を超える。

『和名類聚抄』大鳥郡10郷